

# モニタリング調査結果について (令和5年4月～9月)

# 空間線量率

参考資料 1 p.3,4

## 敷地境界の調査地点



No.6



No.3



No.4



No.2



No.5



No.1



NaIシンチレーションサーベイメータ

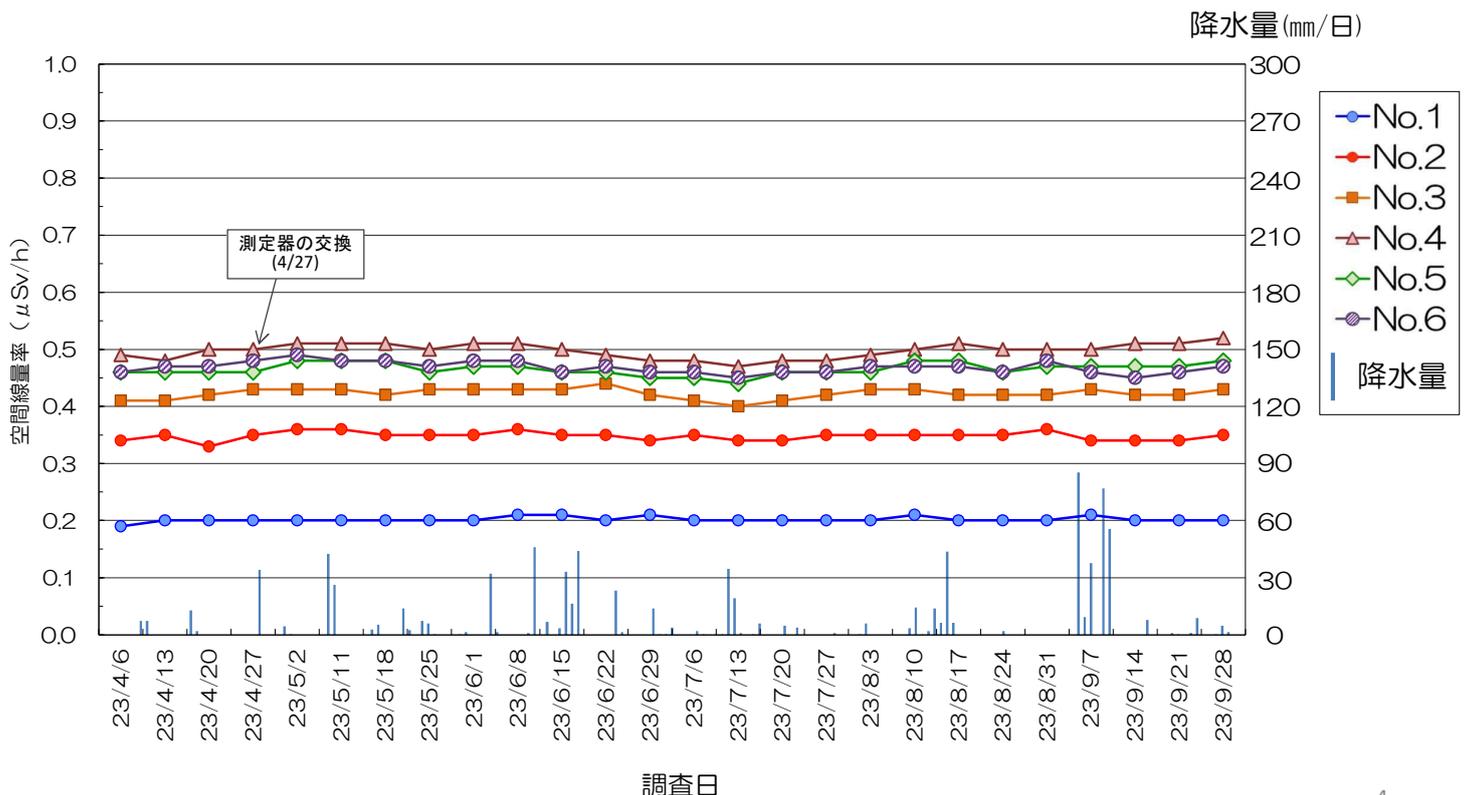
撮影日：令和5年9月7日

# 空間線量率

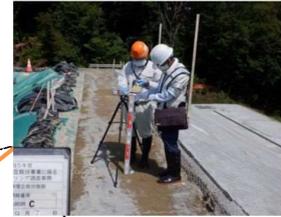
参考資料 1 p.5

## 敷地境界の調査結果

・いずれの地点も、ほぼ横ばい傾向で推移している。



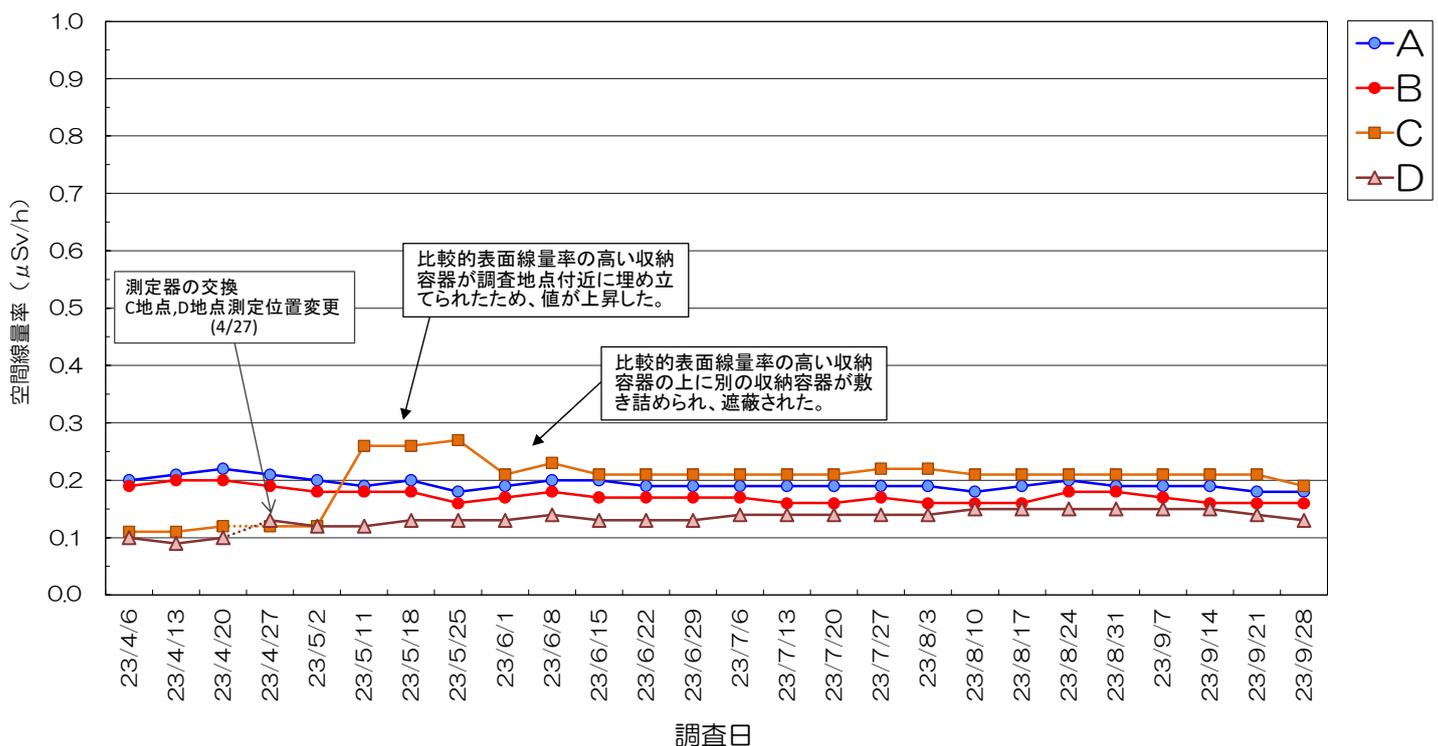
## 埋立地周囲の調査地点



撮影日：令和5年9月7日

## 埋立地周囲の調査結果

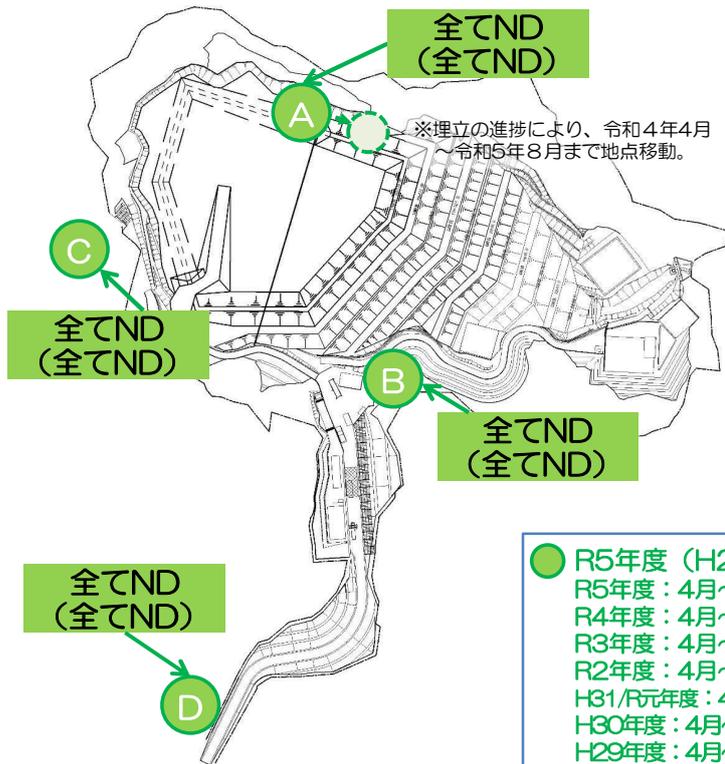
- A地点,B地点,D地点は、ほぼ横ばい傾向で推移している。
- C地点では、廃棄物埋立に関連した変動があった。



## 施設の場内における大気（大気浮遊じん）中の放射能濃度（Cs-134,Cs-137）

参考資料1 p.7~9

・いずれの地点も測定結果は全てNDだった。



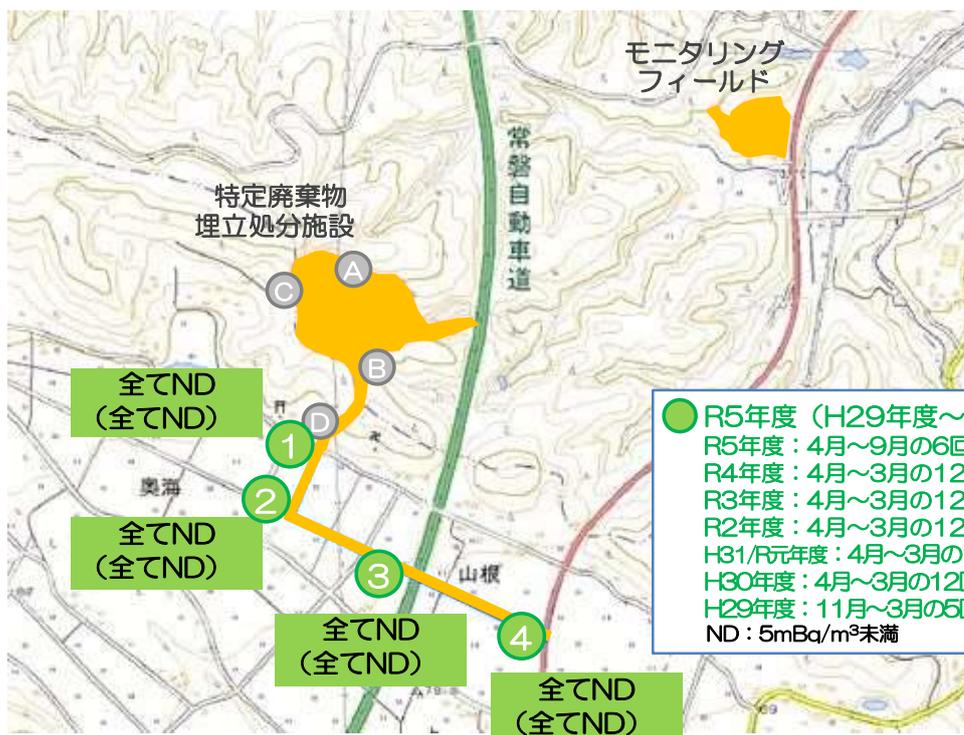
- R5年度（H29年度～R4年度）
- R5年度：4月～9月の6回測定、A地点は12回測定(月2回測定)
- R4年度：4月～3月の12回測定、A地点は24回測定(月2回測定)
- R3年度：4月～3月の12回測定
- R2年度：4月～3月の12回測定
- H31/R元年度：4月～3月の12回測定
- H30年度：4月～3月の12回測定、モリガフィールドは11月～3月の5回測定
- H29年度：4月～3月の12回測定、モリガフィールドは測定なし
- ND：5mBq/m<sup>3</sup>未満

7

## 搬入道路沿道における大気（大気浮遊じん）中の放射能濃度（Cs-134,Cs-137）

参考資料1 p.10,11

・いずれの地点も測定結果は全てNDだった。



- R5年度（H29年度～R4年度）
- R5年度：4月～9月の6回測定
- R4年度：4月～3月の12回測定
- R3年度：4月～3月の12回測定
- R2年度：4月～3月の12回測定
- H31/R元年度：4月～3月の12回測定
- H30年度：4月～3月の12回測定
- H29年度：11月～3月の5回測定
- ND：5mBq/m<sup>3</sup>未満

8

# 植物（松葉）中の放射能濃度（Cs-134,Cs-137） 参考資料1 p.32,33

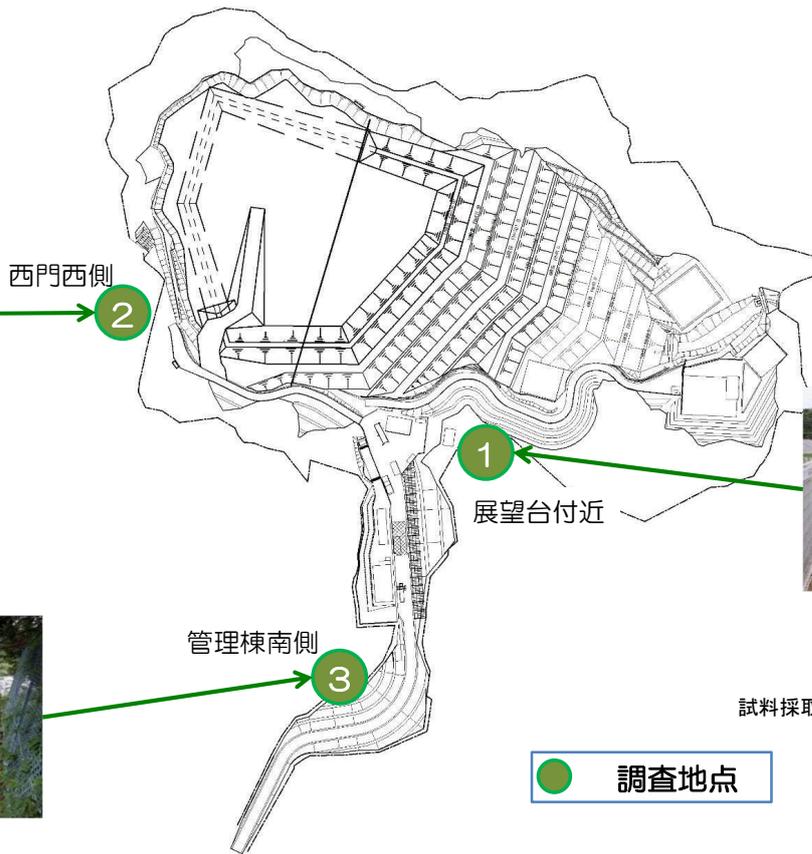
## 調査地点



2 西門西側



3 管理棟南側



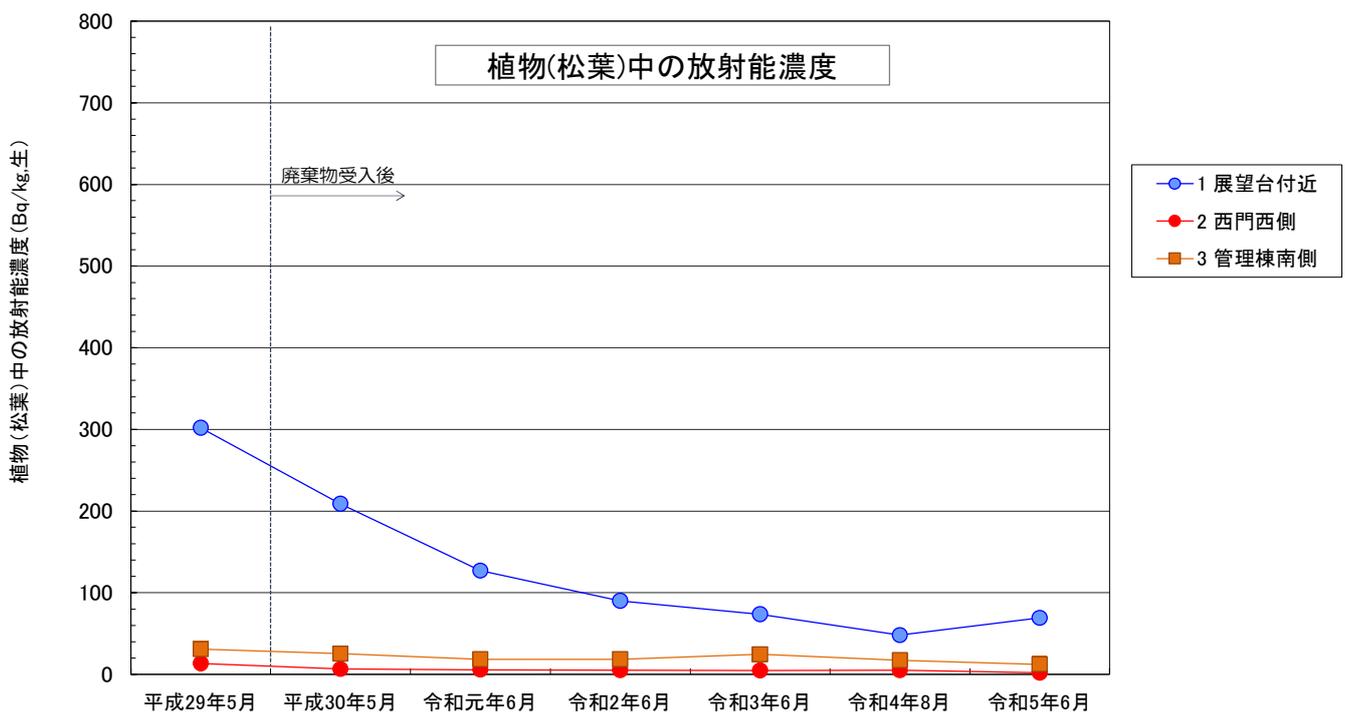
1 展望台付近

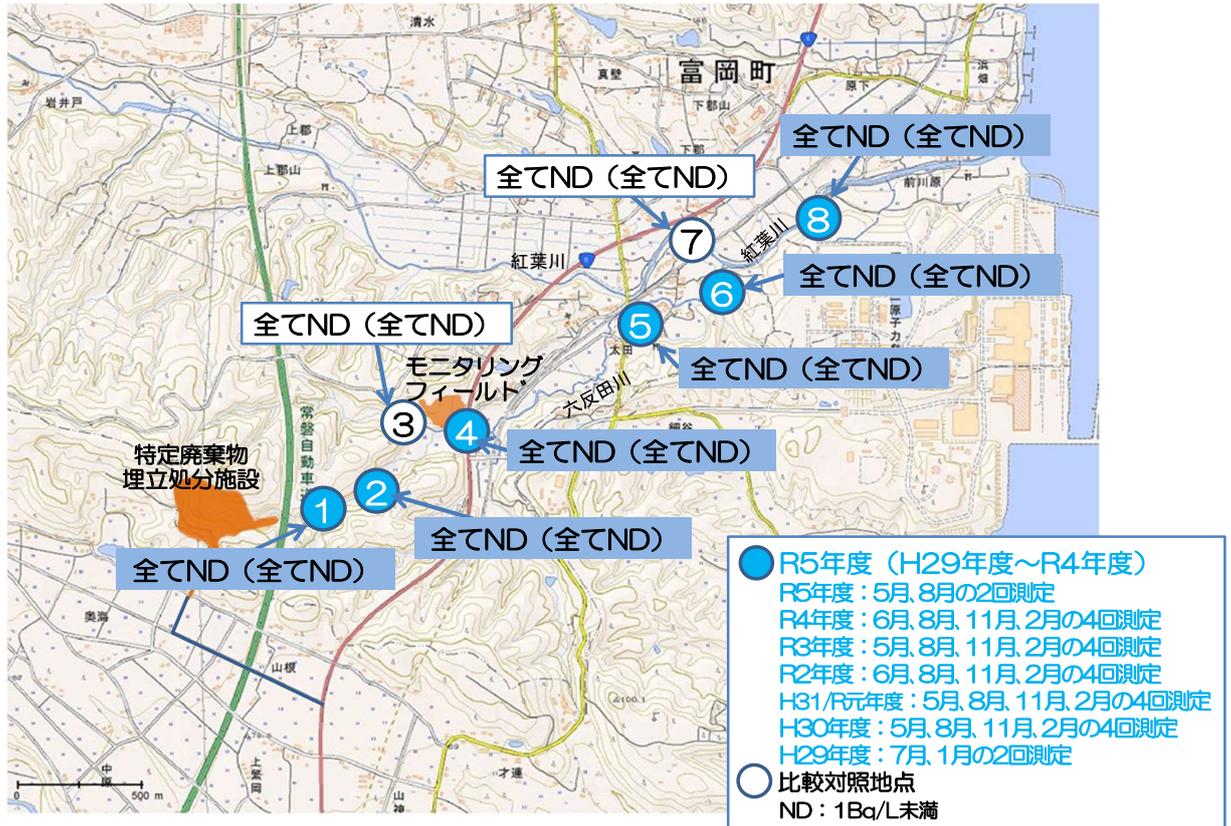
試料採取(撮影)日: 令和5年6月16日

# 植物（松葉）中の放射能濃度（Cs-134,Cs-137） 参考資料1 p.33

## 調査結果

- 地点①は、概ね経年的に減少する傾向で推移している。
- 地点②,地点③は、ほぼ横ばいの傾向で推移している。

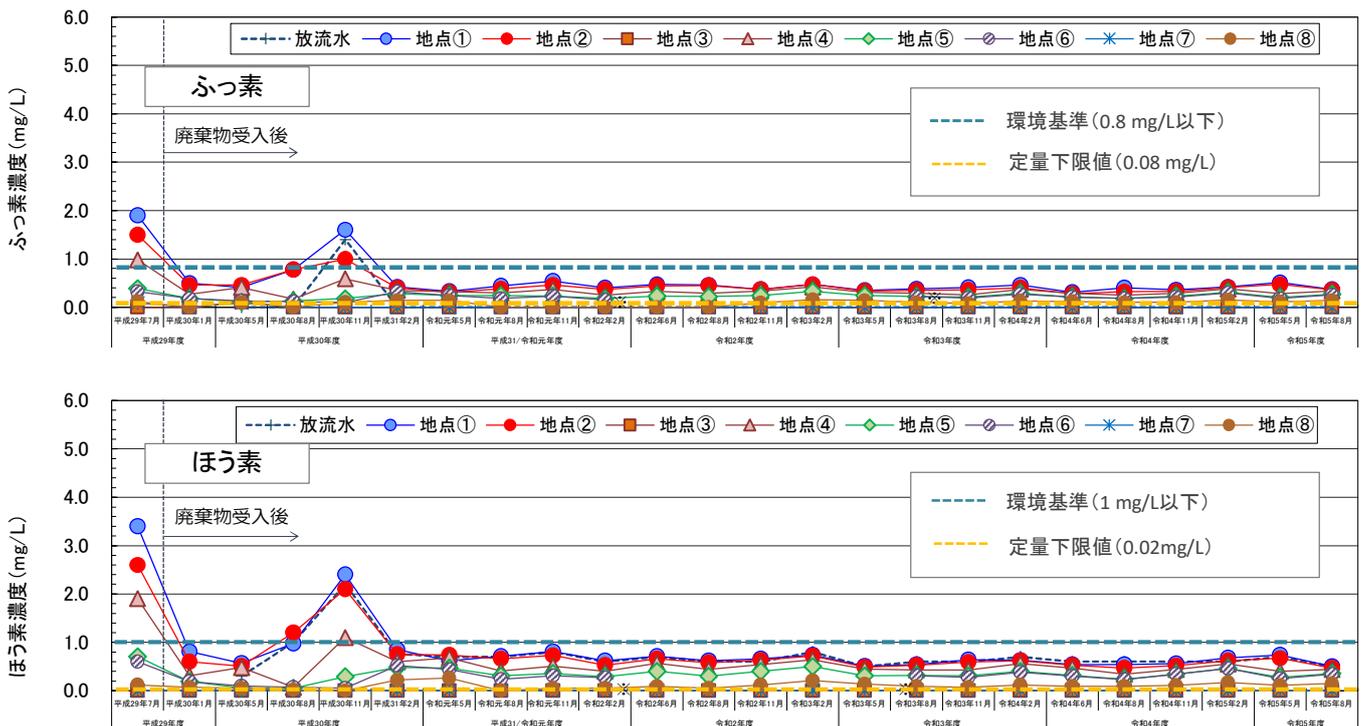




(注) 地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月から調査を再開した。

# 河川水のふっ素・ほう素濃度

・令和5年4月～9月の調査結果では、ふっ素・ほう素ともに環境基準の超過はなかった。



(注) ※：地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月から調査を再開した。

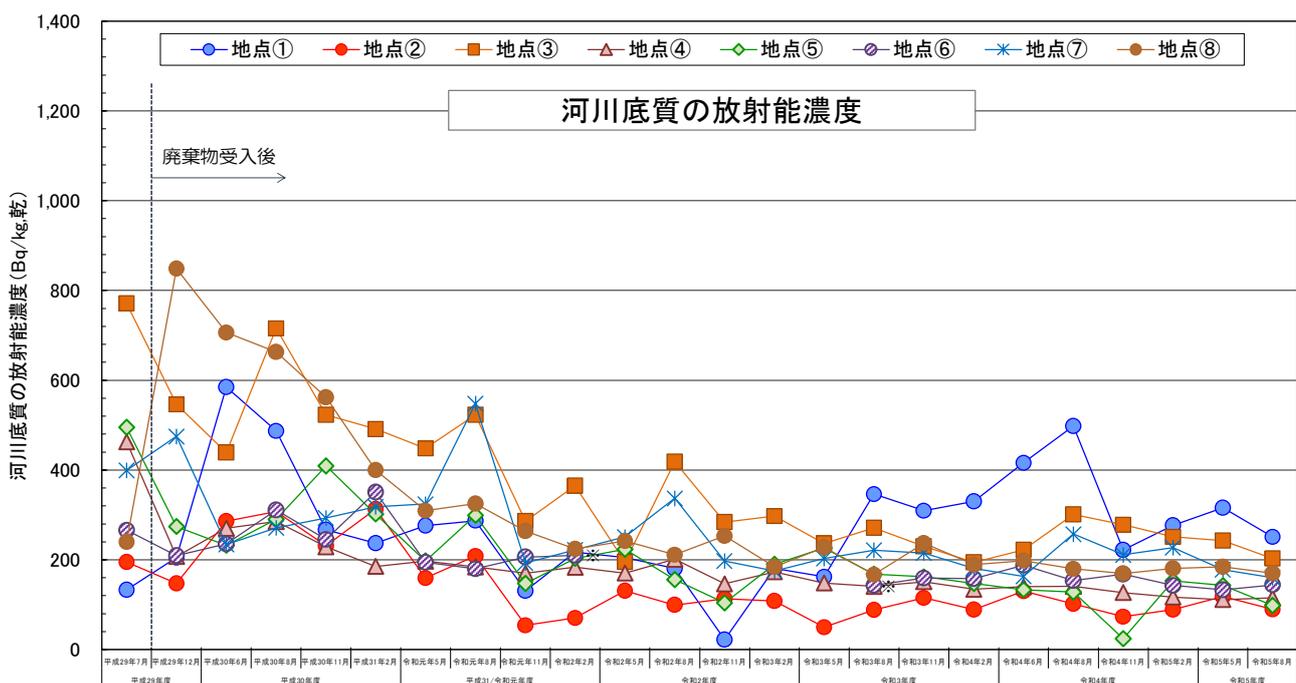
## 調査地点



(注) 地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月から調査を再開した。

## 調査結果

・令和5年4月～9月の調査結果は、概ね過去の値の変動範囲内だった。



(注) ※：地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月から調査を再開した。

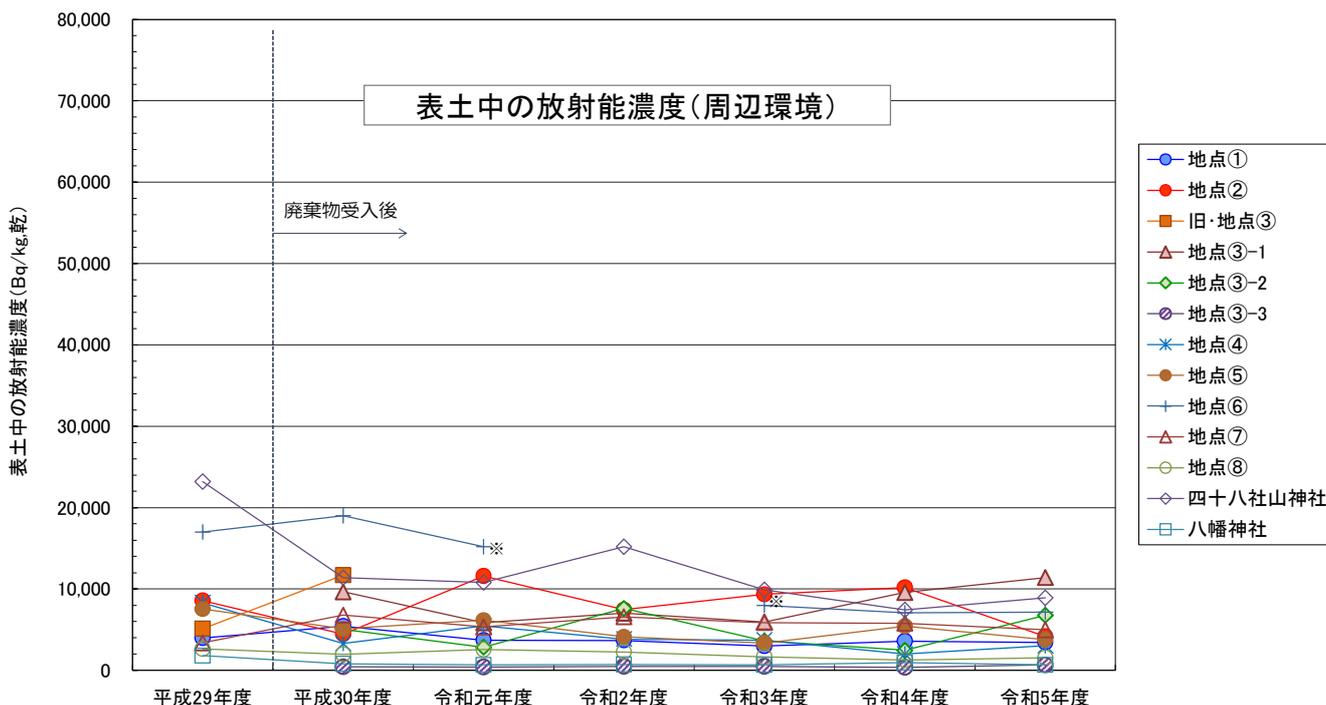
## 調査地点(周辺環境)



(注) 1) 地点③は、平成30年度に旧・地点③(河川水調査地点付近)から地点③-1~③-3(モニタリングフィールド)に変更した。  
 2) 地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年度の調査を一時中止し、令和3年度調査から調査地点を紅葉川右岸に移動して再開した。

## 調査結果(周辺環境)

・令和5年度の調査結果は、概ね過去の値の変動範囲内だった。



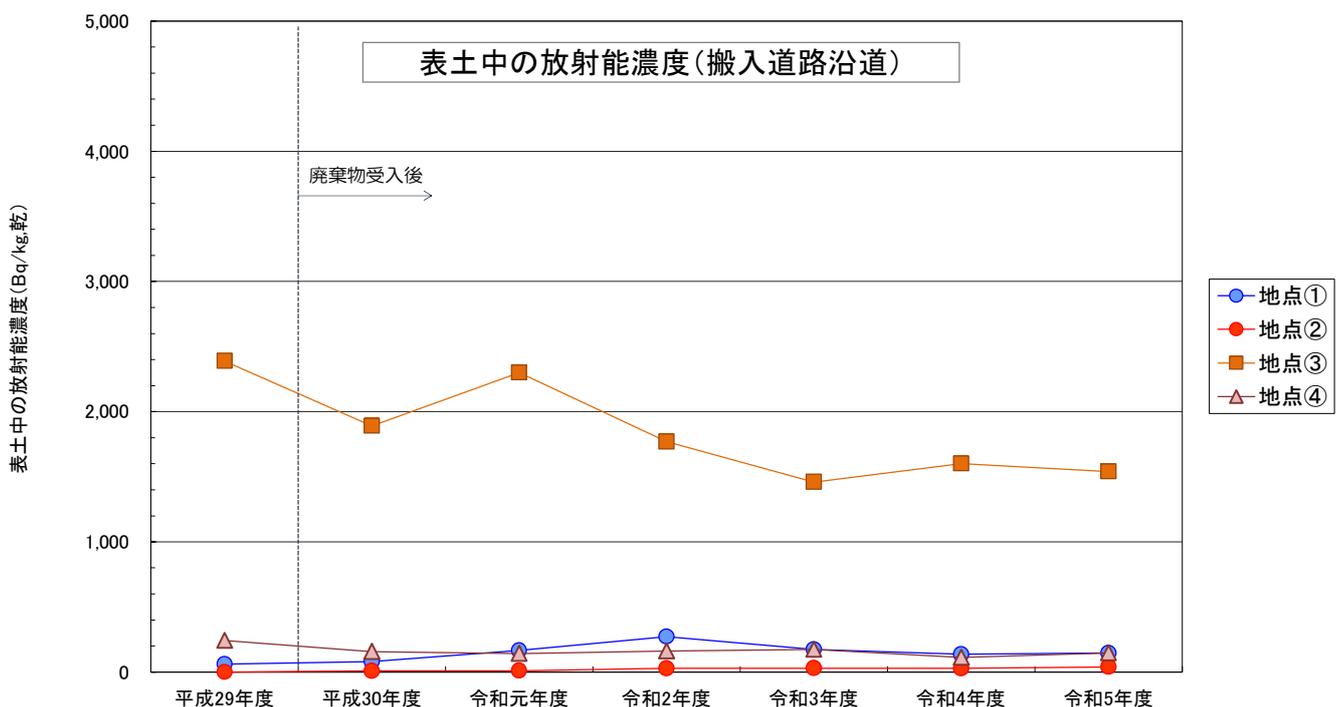
(注) 1) 地点③は、平成30年度に旧・地点③(河川水調査地点付近)から地点③-1~地点③-3(モニタリングフィールド)に変更した。  
 2) ※：地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年度の調査を一時中止し、令和3年度調査から調査地点を紅葉川右岸に移動して再開した。

## 調査地点(搬入道路沿道)



## 調査結果(搬入道路沿道)

・ 令和5年度の調査結果は、概ね過去の値の変動範囲内だった。



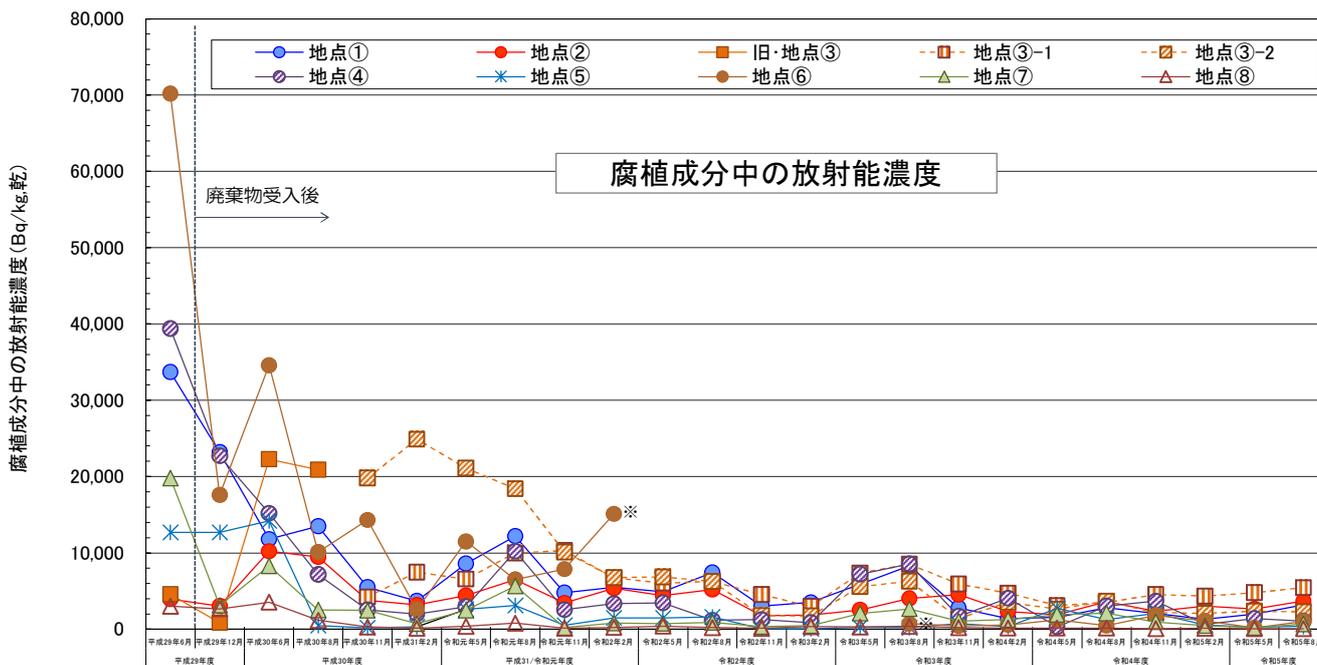
## 調査地点



- (注) 1) 地点③は、平成30年11月に旧・地点③(河川水調査地点付近)から地点③-1及び地点③-2(モニタリングフィールド)に変更した。  
 2) 地点⑤は、令和元年5月に紅葉川南側から北側へ移動した。  
 3) 地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月調査から調査地点を紅葉川右岸に移動して再開した。

## 調査結果

・ 令和5年4月～9月の調査結果は、過去の値の変動範囲内だった。

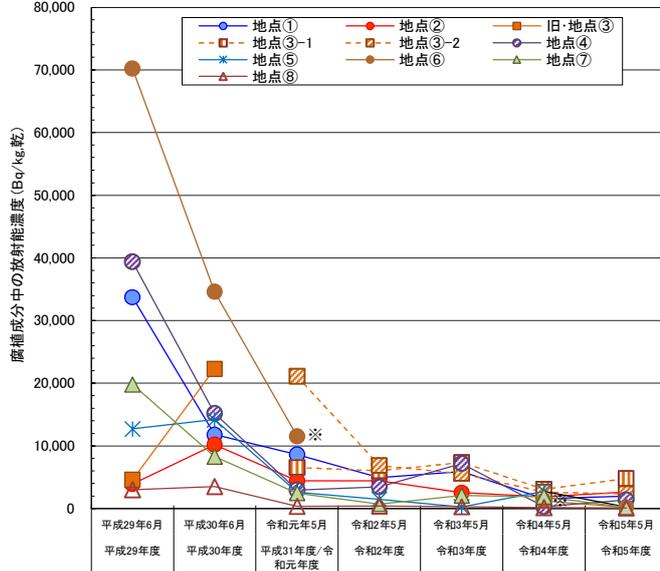


- (注) 1) 地点③は、平成30年11月に旧・地点③(河川水調査地点付近)から地点③-1及び地点③-2(モニタリングフィールド)に変更した。  
 2) 地点⑤は、令和元年5月に紅葉川南側から北側へ移動した。  
 3) ※：地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月調査から調査地点を紅葉川右岸に移動して再開した。

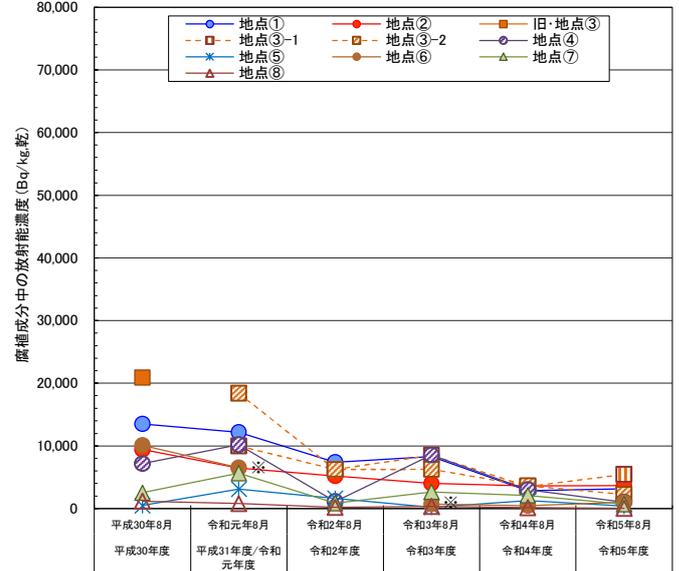
## 調査結果 (調査時期別①)

・調査時期別では、横ばい若しくは減小傾向で推移している。

腐植成分中の放射能濃度(乾燥試料)(5月・6月)



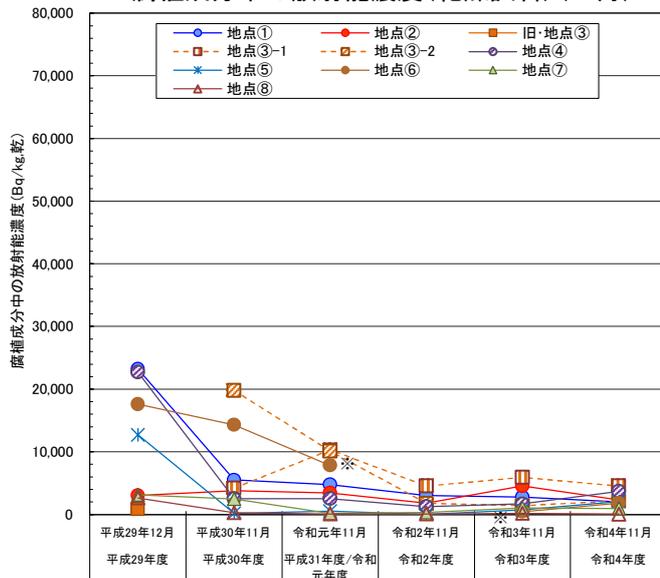
腐植成分中の放射能濃度(乾燥試料)(8月)



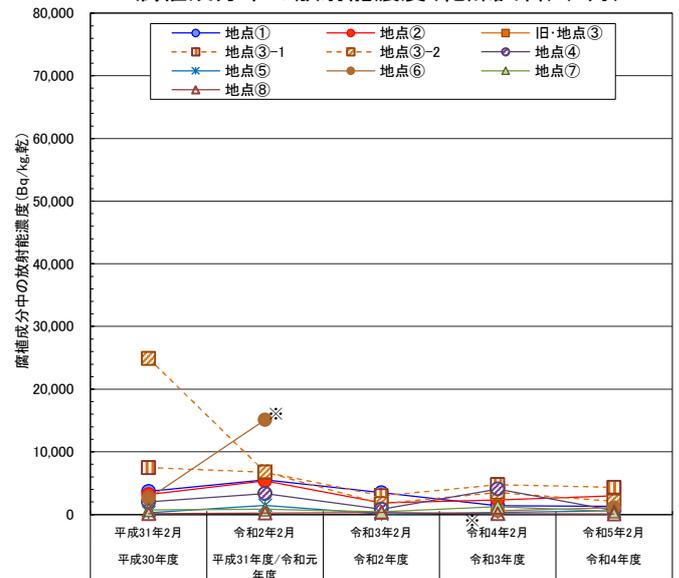
(注) ※：地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月調査から調査地点を紅葉川右岸に移動して再開した。

## 調査結果 (調査時期別②)

腐植成分中の放射能濃度(乾燥試料)(11月)



腐植成分中の放射能濃度(乾燥試料)(2月)



(注) ※：地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月調査から調査地点を紅葉川右岸に移動して再開した。

調査地点

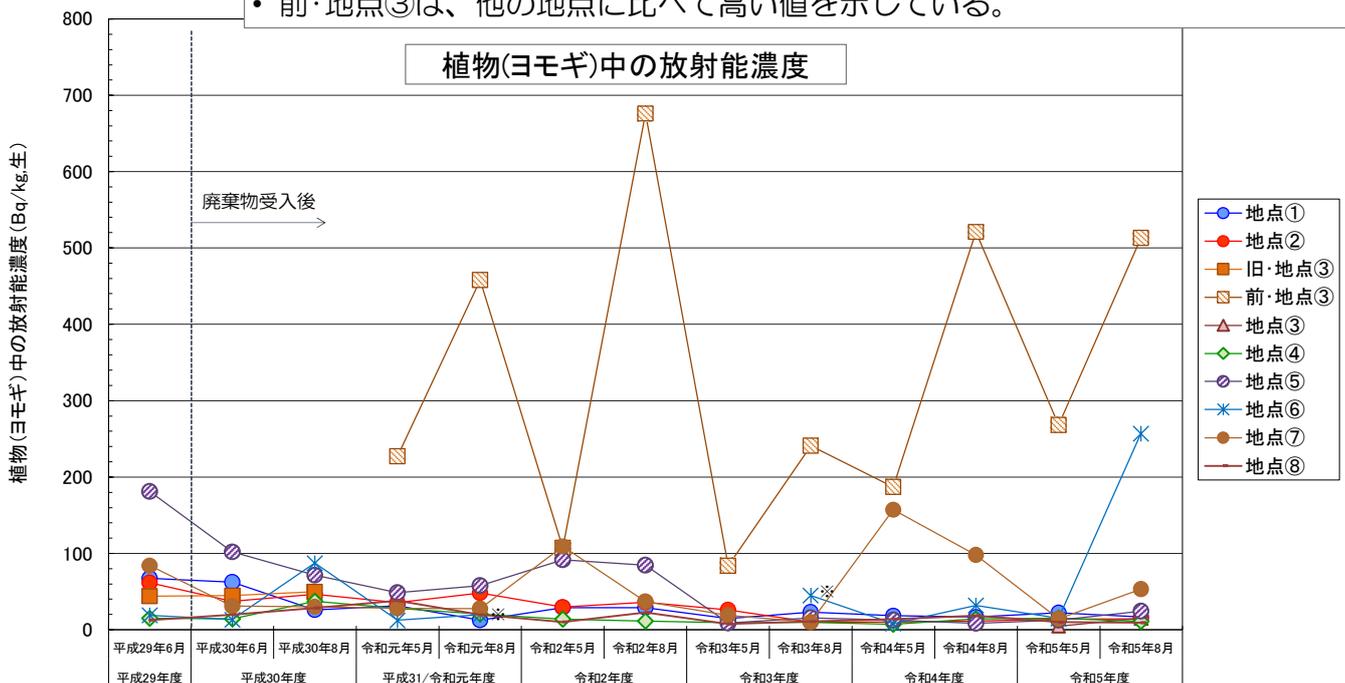


- (注) 1) 地点③は、令和元年5月に旧・地点③(河川水調査地点付近)から前・地点③(モニタリングフィールド)に変更した。
- 2) 地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事に伴い、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月調査からヨモギのみ調査地点を紅葉川右岸に移動して再開した。
- 3) 令和5年度以降、モニタリングフィールドでは2地点(令和4年度までの調査地点である前・地点③と、新たに選定した地点③)の調査を実施することとした。

植物(ヨモギ)中の放射能濃度 (Cs-134,Cs-137)

調査結果

- 令和5年4月～9月の調査結果は、概ね過去の値の変動範囲内であるが、地点⑥では、令和5年8月の調査結果に高い値が見られた。
- 前・地点③は、他の地点に比べて高い値を示している。

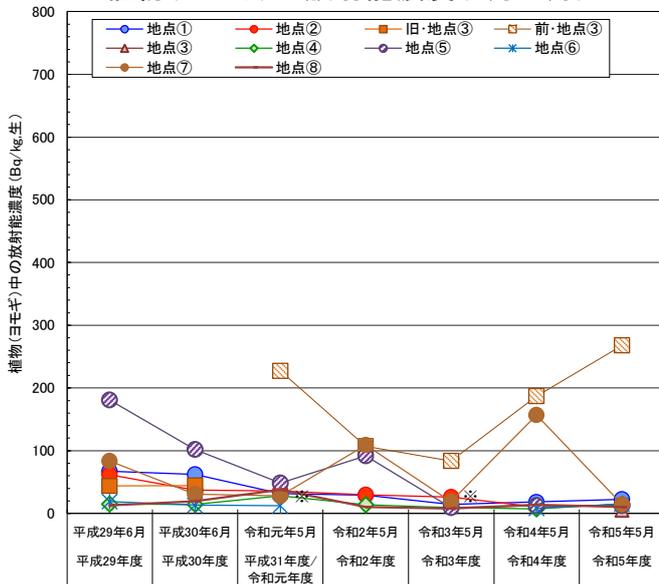


- (注) 1) 地点③は、令和元年5月に旧・地点③(河川水調査地点付近)から前・地点③(モニタリングフィールド)に変更した。
- 2) ※：地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事に伴い、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月調査からヨモギのみ調査地点を紅葉川右岸に移動して再開した。
- 3) 地点③の採取場所は、令和5年度よりモニタリングフィールド南側展望スペースを地点③に変更し、令和4年度までの採取場所は前・地点③とした。

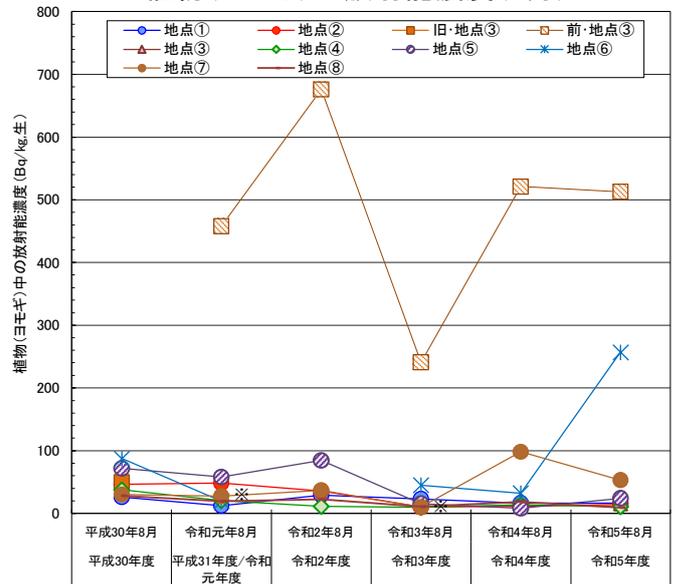
調査結果（調査時期別）

- 前・地点③では、特に8月の値が高く、変動幅も大きい。
- その他の地点も若干の変動はあるが、横ばいの傾向で推移している。

植物(ヨモギ)の放射能濃度(5月・6月)



植物(ヨモギ)の放射能濃度(8月)



(注) 1) 地点③は、令和元年5月に旧・地点③(河川水調査地点付近)から前・地点③(モニタリングフィールド)に変更した。  
 2) ※：地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月調査から調査地点を紅葉川右岸に移動して再開した。

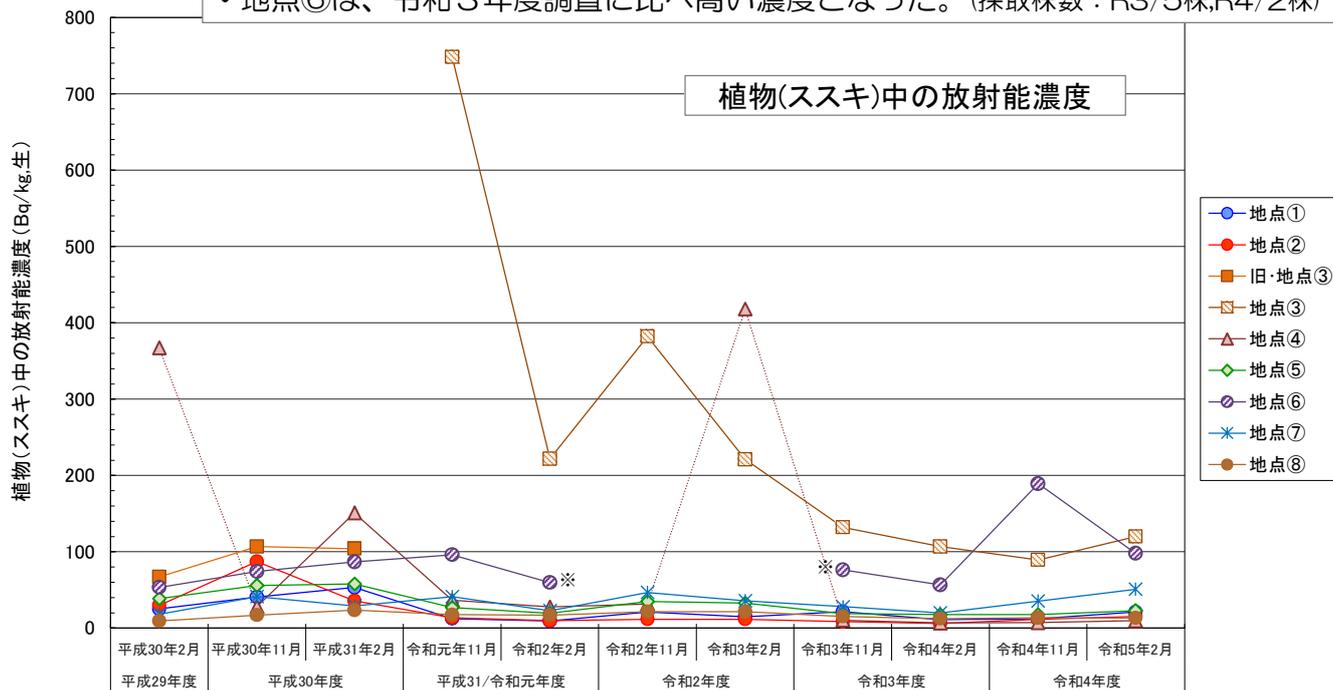
(余白)

# 植物(ススキ)中の放射能濃度(Cs-134,Cs-137)

(参考)

## 調査結果

- ・ 地点③は、ヨモギと同様に他の地点に比べて高い値を示すが、減少傾向が見られる。
- ・ 地点⑥は、令和3年度調査に比べ高い濃度となった。(採取株数：R3/5株,R4/2株)



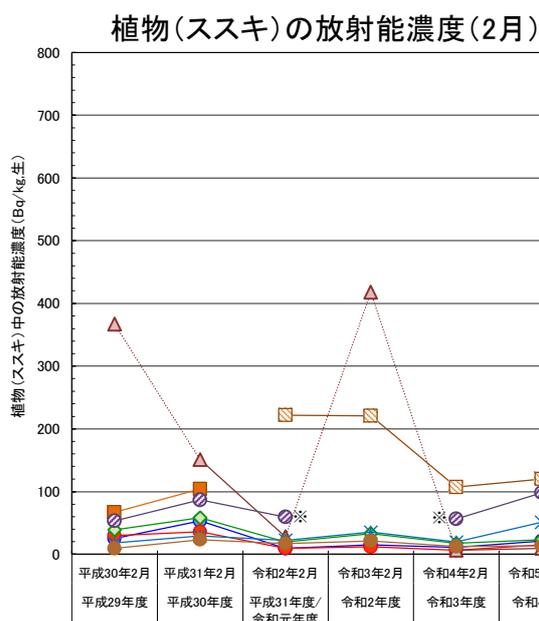
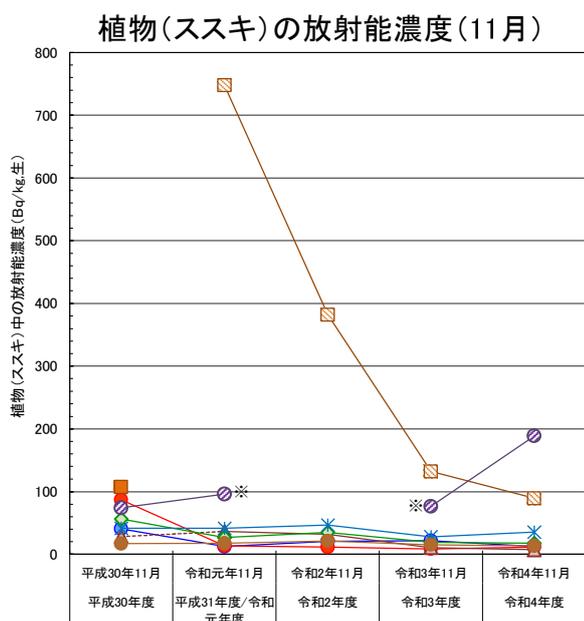
- (注) 1) 地点③は、令和元年11月に旧・地点③(河川水調査地点付近)から地点③(モニタリングフィールド)に変更した。  
 2) 地点④は、試料採取量を確保するため、平成30年11月に国道6号側道北側から南側に地点を移動したが、調査地点の工事により、一時的に令和3年2月に国道6号側道北側(平成30年2月と同じ地点)に移動した。令和3年11月に再び国道6号側道南側に移動した。  
 3) ※：地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年11月及び令和3年2月の調査を中止とした。

# 植物(ススキ)中の放射能濃度(Cs-134,Cs-137)

(参考)

## 調査結果 (調査時期別)

- ・ 地点③は、11月、2月ともに減少傾向が見られる。
- ・ 地点⑥は、令和4年度調査、特に11月の濃度が高くなっている。

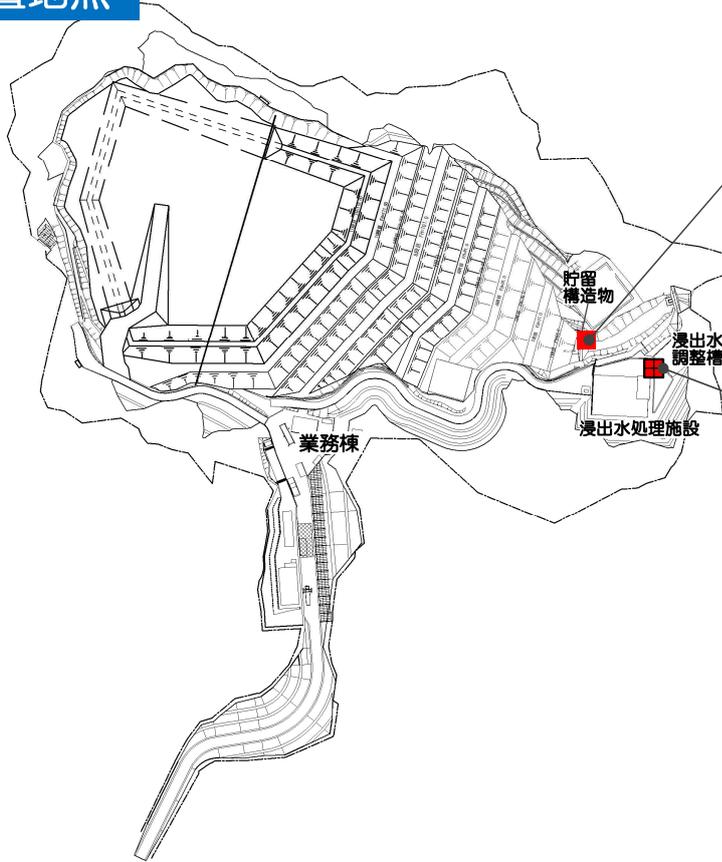


- (注) 1) 地点③は、令和元年11月に旧・地点③(河川水調査地点付近)から地点③(モニタリングフィールド)に変更した。  
 2) 地点④は、試料採取量を確保するため、平成30年11月に国道6号側道北側から南側に地点を移動したが、調査地点の工事により、一時的に令和3年2月に国道6号側道北側(平成30年2月と同じ地点)に移動した。令和3年11月に再び国道6号側道南側に移動した。  
 3) ※：地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年11月及び令和3年2月の調査を中止とした。

# 地下水中の放射能濃度（連続測定）

参考資料1 p.51,52

## 調査地点



地下水採取地点



ユニットハウス



測定装置

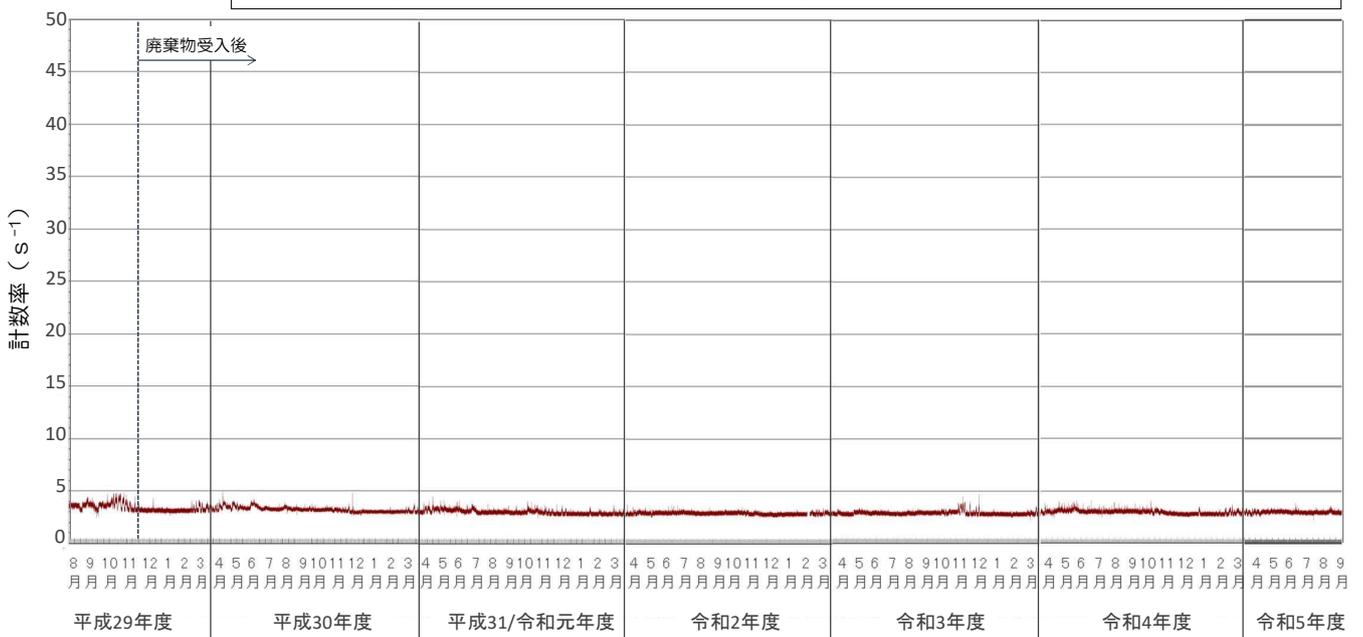
29

# 地下水中の放射能濃度（連続測定）

参考資料1 p.53

## 調査結果

- 測定開始以降、一定の値で推移しており、地下水中へ放射性セシウムが移行していないことを示している。Ge半導体検出器でも地下水中の放射性セシウムを測定しており、これまで全てNDである。



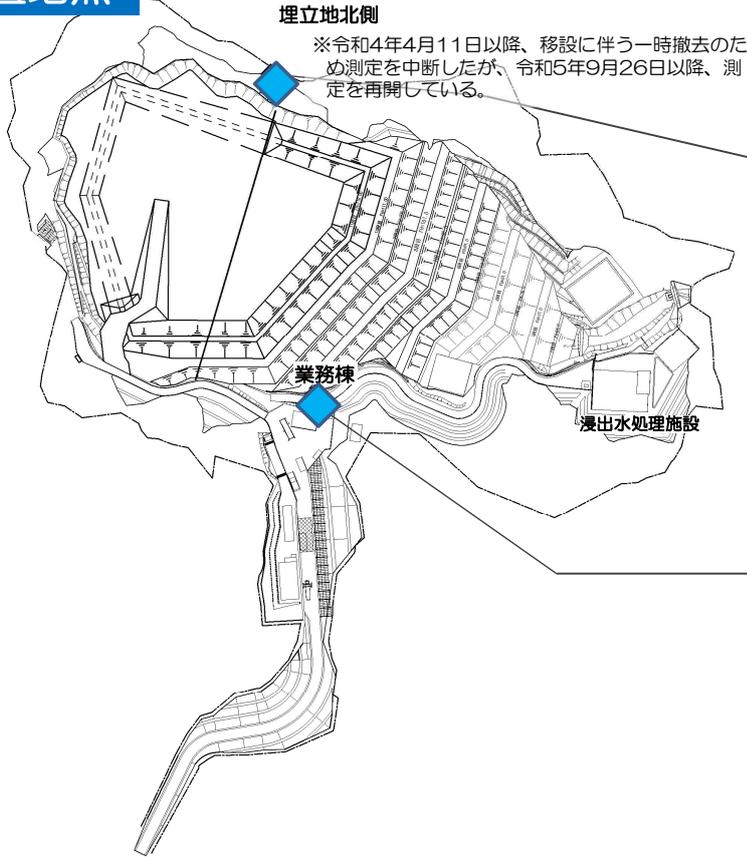
※検出値は、検出器（NaI）が周辺環境からのγ線を検出しているもので、地下水中の放射性セシウムの存在を示すものではない。

30

# 大気中の放射能濃度（連続測定）

参考資料1 p.54,55

## 調査地点



埋立地北側  
 (ユニットハウス外観)



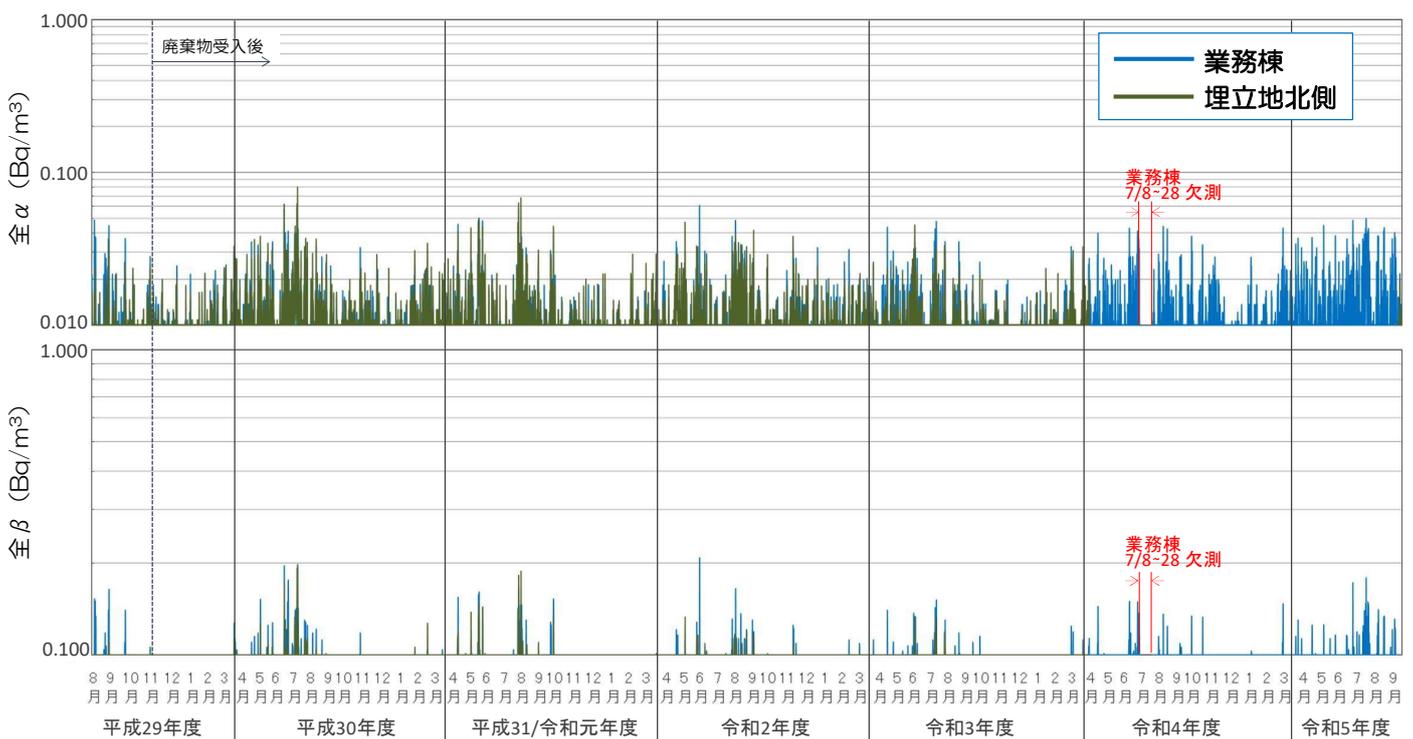
業務棟の測定装置

# 大気中の放射能濃度（連続測定）

参考資料1 p.55,56

## 調査結果

- 夏季と冬季の風向きの変化により、夏季に濃度が高く、冬季に低くなる季節的な変動を示している。

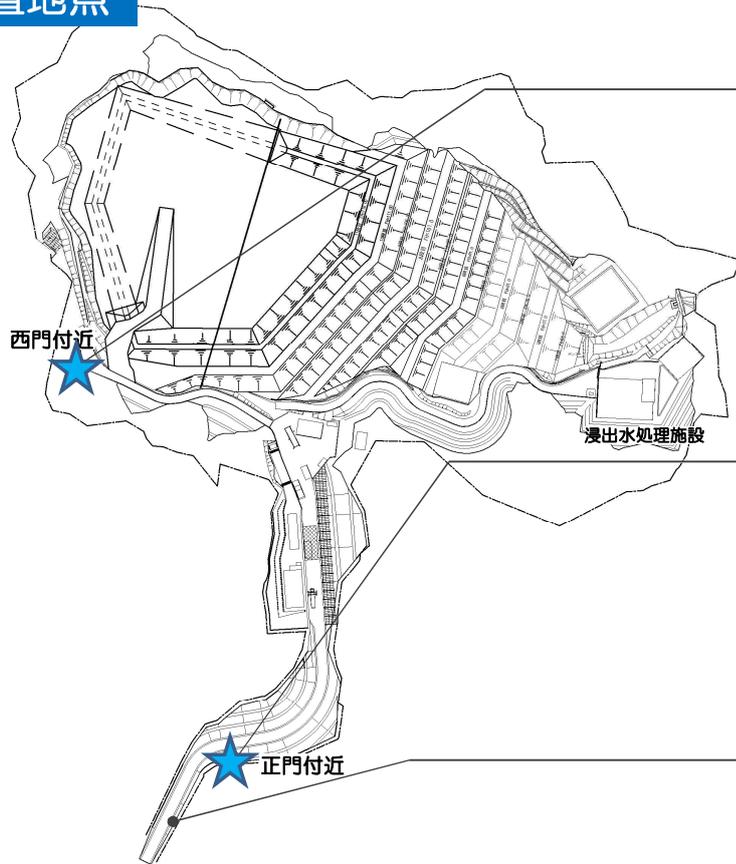


(注) 埋立地北側のダストモニタは、令和4年4月11日以降、移設に伴う一時撤去のため測定を中断したが、令和5年9月26日以降、測定を再開している。

# 空間線量率（連続測定）

参考資料1 p.57,58

## 調査地点



西門付近測定装置



正門付近測定装置



正門付近での表示

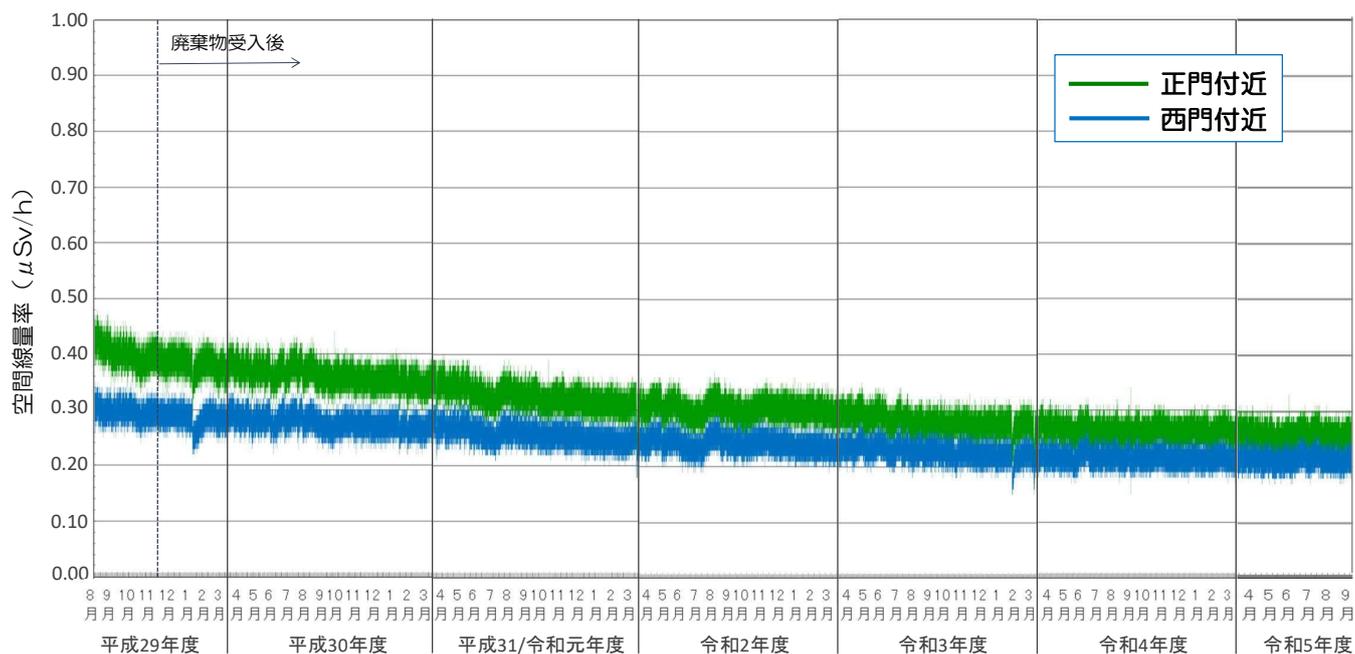
33

# 空間線量率（連続測定）

参考資料1 p.59

## 調査結果

- 測定開始以降、低下傾向を示している。



# 環境モニタリングの結果について

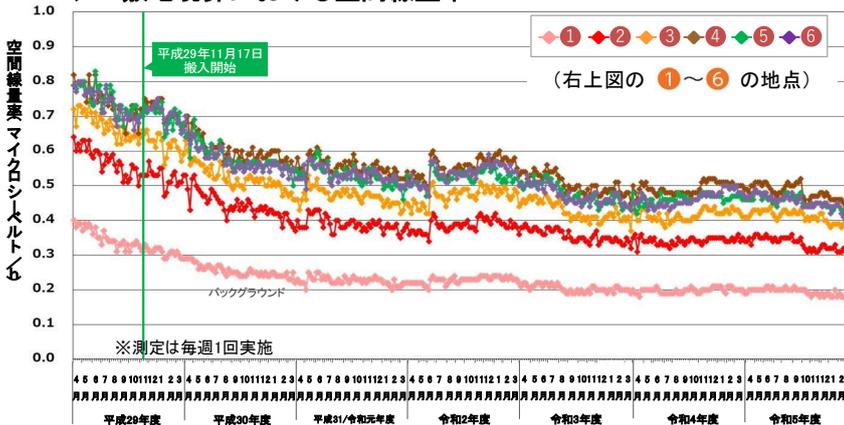
## モニタリング計測箇所

- ★ 敷地境界の空間線量率(6地点) ①～⑥  
(★バックグラウンド1地点を含む)
- ★ 埋立地周囲の空間線量率(4地点) A～D
- ★ 空間線量率(モニタリングポストによる測定)
- 地下水水質(地下水集排水管)(1地点)
- 浸出水原水水質(1地点)
- 処理水水質(1地点)
- 放流水水質(1地点)
- 悪臭(2地点)
- 埋立ガス(2地点)
- 騒音・振動(1地点)
- ◆ 大気中放射能濃度(5地点)
- 雨中放射能濃度(2地点)
- 植物(松葉)中の放射能濃度(3地点)
- 地下水中放射能濃度(連続測定)
- ◆ 大気中放射能濃度(連続測定)
- 河川水等の放射能濃度等(8地点)
- 搬入経路における放射能濃度等(4地点)



## モニタリング調査実績

### ア. 敷地境界における空間線量率



※施設下流域の河川水中の放射能濃度等の測定は、  
上図の●の8地点において、平成29年7月～  
令和5年11月にかけて25回実施した。

### イ. 施設下流域の河川水中の放射能濃度 (セシウム134, セシウム137)

調査の結果、全て検出下限値※未満だった。  
※ 検出下限値 1ベクレル/L

### ウ. 放流水の重金属等濃度

放流水の重金属等(カドミウム, 鉛, 六価クロム, 砒素, 水銀など)に関しても平成29年11月の埋立開始以降、法令で定める基準値等を下回っている。

(余白)